

まつえ社協だより

第127号

月の誌面

P 6

●善意のご寄付ありがとうございました

●令和2年度予算の概要

皆様からご寄付いただく会費は地域の福祉活動に役立てられています。 福祉のまちづくりにどうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

社協会費の目的は?

地域には介護保険等の公的サー ビスだけでは解決できない「法的 整備が遅れている」「サービスが ない」課題が山積しています。 制度の狭間の福祉課題、地域の 特性を活かした地域福祉活動の 推進のために社協会費が必要と されています。



会費の活用先は?

お納めいただいた会費は次のこと に使われています。

- ●地域福祉活動の推進
- ●ボランティア活動及び福祉活動



社協ってどういうところ

社会福祉協議会は、社会福祉法に位 置付けられた 「地域福祉の推進を図る こと」を目的とした民間の自主組織で す。地域の皆様やボランティア、保健・ 福祉関係者、行政機関などのご参加・ ご協力を得て地域福祉活動を推進し ています。



-般会員:年間1口800円以上 特別会員1口2,000円以上)

「社協会費」は、厳しい情勢のなか、皆様から任意でいただくものであります。 それぞれの自治会や隣保で強制的な募集になりませんようお願い申し上げます。 また、町内会・自治会に未加入の世帯の皆様で、趣旨をご理解いただき、ご協力を いただける方は、下記へお知らせください。



^{金和2年度} 松江市社会福祉協議会事業計画

松江市社会福祉協議会は、市民誰もが安心して暮らすことができる『福祉でまちづくり』を地域住民の方やボランティアの方、福祉・保健・医療の多様な機関・団体と共に推進することを使命とします。

重点事業

地域福祉の推進



地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進をめざして、身近なところですぐに相談でき、必要な支援を受けられる総合相談支援体制を構築していくための総合相談機能及びコミュニティソーシャルワーク(地域力強化の推進)機能の強化のための取り組

みを継続してまいります。

また、29地区の第5次地区地域福祉活動計画の進捗確認、支援及び第5次松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進するとともに、概要版を活用して地域福祉を推進していくという意識醸成を図っていきます。

併せて、第2層協議体への積極的、継続的なアプローチを進めるとともに、第1層協議体においても 市レベルや圏域を越えたニーズに対応するため、多様な生活支援サービスの創設や担い手の養成等 を取り組んでいきます。

重点事業

ボランティアセンターの機能強化



松江市ボランティアセンターは、社会福祉協議会に求められる役割(総合相談体制の構築、地域つながりづくり、つながりの中からのニーズ把握及び支援、担い手づくりと地域住民の福祉に対する意識醸成)と連動した活動を推進します。

そして、松江市ボランティア連絡協議会・企業ボランティア松江ネットワーク会議・松江市社会福祉法人連絡会の活動支援をとおして、ボランティア団体・企業・社会福祉法人との連携を図り、その特性を活かして社協のボランティアセンターならではの地域課題の解決を図ります。

福祉教育において、中学校の学習指導要領に介護が導入されたことにより、福祉と介護についても今後、地域共生社会の実現につながる「人と人とのつながりや関わり」「他者への思いやりと関心」を学ぶ機会として地域の様々な団体とのネットワークを強化し、地域全体の「共に生きる」意識の醸成を図ってまいります。

また、高齢者の社会参加を通した介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進を目的とする「まめなかポイント」(福祉ボランティアポイント事業)の取り組みが3年を経過したことを踏まえ、事務手続きを見直し個人登録者の一層の拡大に努めます。

重点事業

地域包括ケアシステム実現に向けた事業の推進



第7期松江市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護・予防・医療・生活支援・住まいの5つのサービスを一体化した地域包括ケアシステムの実現に向けた事業を取り組みます。

地域包括支援センターに新たに配置されたコミュニティソーシャルワーカーと協働することで、総合相談機能を強化し、あらゆる困りごとに対しチームとして受け止め、関係機関と連携しながら課題解決に向けて支援を行います。

また、高齢者を支援する介護支援専門員・サービス提供事業所などを対象に「地域ケア会議」「松江市事例検討会」「公開講座」「包括ブロック連絡会」等を開催し、高齢者の介護予防・自立支援の視点に立ったサービス提供や介護予防ケアマネジメント力の向上に取り組みます。

医療と介護の連携については、『在宅医療・介護連携支援センター』を拠点に、地域の医療・介護資源を把握し、在宅療養に関する関係者からの相談・住民啓発・関係者への研修などに取り組みます。また、今年度から3年間、松江市医師会から県の「医療連携推進コーディネーター配置事業」を受託し、医療機関や訪問看護ステーション、行政等と連携しながら在宅医療の連携体制づくりに取り組みます。

重点事業

総合相談支援の強化・充実

「ふくしなんでも相談所」を市内15カ所に開設し、高齢者、障がい者、子ども等といった分野を問わない様々なニーズに対し相談対応しています。高齢者、障がい者の社会的孤立等、複雑に絡む問題を抱える対象者や世帯に対し、分野横断的かつ包括

的な支援ができるよう、総合相談調整室を中心に、市社協の持つ相談機能「コミュニティソーシャルワーカー」「地域包括支援センター」「障がい者サポートステーション絆」「くらし相談支援センター」「権利擁護事業」等、さらには法人外組織「法テラス島根」「松江後見センター」「社会福祉法人」及び「民間企業」等と連携し、総合相談機能の強化・充実を図ります。特に「松江市社会福祉法人連絡会」と協働し、「ふくしなんでも相談所」のさらなる立上げを行い、住民により身近な相談支援体制づくりを目指します。

また、地域の中で「生きづらさ」を抱えた方のニーズを早期に発見できるよう、昨年度に引き続き、各地域や企業などにおいて「社会的孤立」をテーマにした研修会等を開催し、地域の「福祉力」強化を推進していきます。

重点事業

権利擁護支援体制の推進

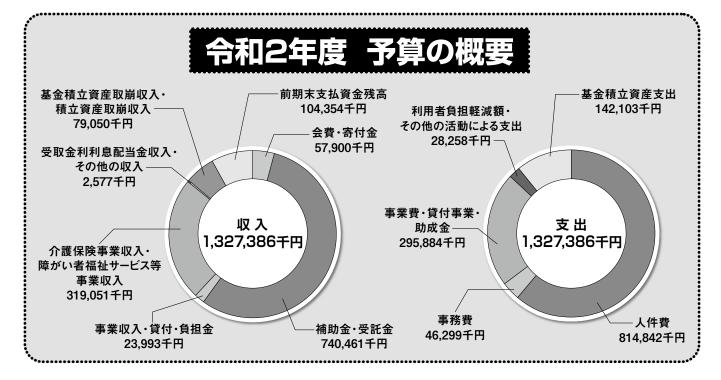
少子高齢化や地縁血縁の希薄化、家族形態の変化等による身寄りのない方の様々なニーズに対応するため、昨年度より「高齢者安心サポート事業」を開始しました。身寄りのない高齢者への見守り、入院時の保証、死後の支援等のサポート体制

づくりを進めていきます。

また、昨年度家庭裁判所から市民後見人の第1号が選任され、本会が後見監督人として市民後見人の活動支援を行っています。引き続き、日常生活自立支援事業、法人後見事業、市民後見人等養成事業、成年後見市民公開講座等の事業展開を強化し、権利擁護支援の体制づくりを図ります。そして、権利擁護支援が必要な人の早期発見から相談支援、後見人等を含めた「チーム」づくり、「チーム」をバックアップすることができる権利擁護推進のネットワークづくりも進めていきます。



- ◆社協運営及び機能強化
- ◆地域福祉及び連絡調整の強化
- ◆ボランティア活動の推進
- ◆生活支援事業の推進
- ◆介護保険関係事業の推進
- ◆障害者総合支援法関係事業の推進
- ◆児童福祉サービスの推進
- ◆福祉施設等管理運営事業



大風洋準備豆湯事業って何ですから

「仕事ブランク(働いていない期間)がある」「どんな 仕事に就いてよいか分からない」「働いた経験が少な い」「社会との関わりに不安がある」など、すぐに就労 が難しい方に、就労に向けた支援を行っています。

「個別面談」や「就労準備 講座」「職場体験」「ハロー ワークを利用した就労支援」 を行っています。



「就労準備講座」



体操教室、パステルアート、料理教室、 コミュニケーション講座、ビジネスマナー講座、職場体験、体験報告会 令和2年度は5月、9月、1月に開催予定です。お気軽にお問合せください。

参 ★「初めは緊張してい ましたが、実際は楽 加 しく参加できましたし

★「職場体験で初めて ഗ 働くという体験がで 声 き自信になりました」

松江市くらし相談支援センター ☆ 60-7575 FAX 60-7576

「ふくしなんでも相談所をイオン松江ショッピングセンターに開設します!」

松江市社会福祉協議会では、イオン 松江ショッピングセンター(松江市東 朝日町151)において毎月第3火曜日 に「ふくしなんでも相談所」を開設しま す。どこに相談してよいかわからない などお困りごとがありましたら、相談 窓口を設けていますので、お気軽にお 立ちよりください。

ふくしなんでも相談所inイオン松江



●開設日

毎月第3火曜日 ※初回は4月28日(火) 午前10時~午後4時まで

社会福祉協議会の相談員が対応いたします。

皆様からの篤志寄付金が役立てられています 地域のみんなでつくる、誰でも参加できる交流の場

★地域の陽だまりスペースです★ 令和元年度には・・・ 5会場の新規立ち上げがありました

おしゃべりや体操で 心と体のリフレッシュ♪ ぜひ地域の皆さんで ご参加ください





地域福祉課 地域福祉係 ☎24-5800 Fax 24-1020 お問い合わせ・ご相談はこちら

松江市社会福祉法人連絡会・市民公開シンポジウムを開催しました。

令和2年2月21日(金)松江市総合福祉センター大ホールを会場に松江市社会福祉法人連絡会の主催で「市民 公開シンポジウム」を行いました。

講師には北九州市を中心に3か所の自立支援施設を運営し、30年で3,200人以上のホームレスを自立へと導い たNPO法人抱樸理事長 奥田知志氏をお迎えし、「いのちに意味がある」〜私たちは何 を大切にしてきたのか~をテーマに基調講演をいただきました。続いて、シンポジウムで は加盟法人の社会福祉法人島根ライトハウスと社会福祉法人みずうみからそれぞれ実践 報告を行い、市民のみなさまを含め関係者150名にご参加いただきました。

※松江市社会福祉法人連絡会とは地域公益活動を積極的に推進することで地域にお ける様々な課題に対し、協力しながら対応できる仕組みづくりを目的に平成29年1月に設 立されました。現在、市内47か所の社会福祉法人が参加しています。





いつでもご相談ください!

地域包括支援センターは、住み慣れた地域でその人らしい生活を 継続することができるよう、主任ケアマネジャー、社会福祉士、 保健師などが中心となって高齢者のみなさんを支援します。

例えばの





自分の強みを活かして 誰かの役に立ちたい!

大事なものがなくなったと よく言うように なった…





センター名	連絡先	担当地区(公民館区)
松東地域包括支援センター 松東サテライト	☎24-1810 ☎72-9355	朝酌、川津、本庄、持田、島根 美保関、八束
中央地域包括支援センター	☎24-6878	城北、城西、城東、白潟、朝日、雑賀
松北地域包括支援センター	☎82-3160	法吉、生馬、古江、秋鹿、大野、鹿島
松南第1地域包括支援センター	☎60-0783	津田、大庭、古志原
松南第2地域包括支援センター	☎52-9570	竹矢、八雲、東出雲
湖南地域包括支援センター 湖南サテライト	☎24-1830 ☎66-9355	乃木、忌部、玉湯、宍道

松南第1地域包括支援センター移転のお知らせ

令和2年6月1日より、次の通り事務所を移転します。 担当エリア(津田・大庭・古志原)と電話番号(60-0783)は変わりません。

〒690-0033 松江市大庭町735番地 (JAUまね大庭支店となり)

松南第1地域包括支援センタ 大庭店村 フリ-JAしまね ダム様 大庭支店様 八重垣神社竹矢線 松浦造園様

善意のご寄付ありがとうございました

善意のご寄付は、松江市社会福祉協議会篤志寄付金配分委員会で協議の上、 社会福祉団体等への補助金及び社会福祉事業へ配分いたします。 (ご寄付をいただいた方のお名前については、ご本人の了承のもとに掲載しています。順不同敬称略) 令和2年1月21日~令和2年3月20日受付分

【香典・玉串料返し寄付金】	中路 恵治	和久利 正	野津 辰巳	山本 臣大
松本 輝己	鍜冶 志乃武	松尾 初吉	佐々木 正美	鈩 陽子
田代 純子	木次 俊之	石川 悦朗	稲村 卓也	松浦 治美
若林 泰雄	錦織 宏介	太田 重美	山口 洋枝	昌子 宗賢
野田 卓	長谷川 芳勝	菊池 崇憲	寺戸 誠	西光寺
小草 司	足立 裕美	槇本 裕久	原 昌一	福島 茂
周藤 絹代	金坂 俊孝	森田 貴和	吉岡 潤三	杉峠 武志
前田 静枝	井川 秀美	岡本 清志	野津 勝則	豊島 民雄
山本 正寿	米田 努	山本 末子	小谷 実子	木村 尊
石原 郁子	森 崇徳	渡部 幸一	内村 悟	石倉 章子
久保田 美緒	宮本 美子	伊豫 宣行	高木 善之	黒田 晃弘
島田 舟子	周藤 新市	坂本 勝美	松下 文子	安達 真一
三島 元信	菊池 良兵	伊達 陽子	渡部 恒久	井上 康廣
青山 美恵子	石倉 律子	江藤 卯	宮田 孝子	木村 誠
竹谷 和夫	野津 哲	平儀野 政友	三島 昭博	匿名 9件
野津 研一	余村 富士雄	藤井 秀樹	福田 浩三	•••••
角田 寿男	瀬田 利夫	角田 良子	(故)和田 計夫	香典·玉串料返U寄付金
髙麗 義美	吉岡 修	驛田 忠輝	高畑 栄子	計 167件
吉岡 秀一	荒川 嘉代子	善浪 佳弘	坂口 正晴	計 4,738,000円
土屋 誠一	小松 幸子	松本 民夫	山根 一七子	
梶谷 均	赤星 亨	渡部 正司	犬山 晃	
小山 俊子	小谷 謙二	安部 美徳	吉野 幸子	【一般寄付金】
青砥 剛久	田中 浩二	石川 吉重	槇原 顯	松江市民児協常務OB会
野津 由美子	本田 治男	吉岑 正美	小川 昌弘	松江市職員祭実行委員会
脇坂 良行	竹中 太	門脇 敦	朝倉 富二夫	中村 満(見舞返し)
木村 明正	梅原 英生	中野 公也	土井 郁子	•••••
仙田 利枝	山根 邦之	北野 喜美子	山本 純生	一般寄付金
金坂 恭平(2件)	栗原 忠義	松本 三保	松本 光一	計 3件
村竹 隆	後長 正夫	福間 健司	奥原 隆行	計 114,726円
福代 直子	中島 洋一	仲田 大輔	福間 英	
青山 高樹	新海 道子	安達 由美	多久 安夫	
古藤 勝也	金津 眞一	川見 浩	蚊屋 圭輔	ご寄付は、松江
松尾 千栄子	中島 知信	吉岡 正義	南波 隆之	市社会福祉協議
岩田 昌志	金坂 真宜	森脇 八千代	山根 明利	会本所、支所、地
山本 明彦	加納 寿美子	荒川 健治	井谷 悦子	会で受付してお
新宮 幹功	伊藤 登	竹内 和正	本田 恵美子	ります。

松江市社会福祉協議会

松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター内 E-mailアドレス shakyo-m@web-sanin.co.jp TEL(0852)21-5773 FAX(0852)21-5377 ホームページアドレス http://www.shakyou-matsue.jp